

ひまわり No.25

消防広報 平成29年(2017)10月11日

編集・発行 出雲市消防本部 消防総務課
TEL: (0853) 21-2119(代)
e-mail: soumu@izumo119.or.jp



平成29年度全国消防統一防火標語

火の用心
ことばを形に 習慣に

消防錬成会

出雲市消防本部

1日体験学習

第46回全国消防救助技術大会に出場しました!

各地区予選会において優秀な成績を収めた消防救助隊員が出場する全国消防救助技術大会が宮城県の宮城郡にある宮城県総合運動公園にて開催されました。

出雲市消防本部からは、鳥根県予選会を突破した21名の隊員が中国地区予選会に出場、水上の部で足立智喜副士長が中国地区を代表して全国大会への出場権を獲得し、大会では入賞を果たしました。たくさんのおみなさまにご声援いただきありがとうございました。



神西地区災害対策委員会主催により、防災に対する意識を高めることを目的に体験型の防災教室が開催され、地元小学生やその保護者が参加しました。煙体験ハウス、起震車による地震の体験や、防災グッズの展示など、災害に備えた事前準備や災害が発生した時どのような行動をとればいいのか学びました。また、Tシャツや毛布を使用した担架の作製方法なども体験しました。

地震や煙を実際に体験し身をもって学ぶことで、いざという時の行動力が磨かれました。



家族で学ぼう防災教室



水難救済会は漁業関係者等で構成され、海難事故発生時には昼夜を問わず救助活動にあたる組織です。消防署は水難救済会との連携を図るため、毎年合同訓練を実施しています。今年の8月には、大社消防署、平田消防署、及び出雲西消防署、多伎分署の各署が水難救済会との合同訓練を実施しました。

そのうち大社消防署との合同訓練では、水難救済会から11隻、59名の参加をはじめ、第八管区海上保安本部より巡視艇、また出雲地区小型船舶連合会も参加されました。溺者救助訓練、船舶火災消火訓練、孤立者救助訓練など、非常に充実した訓練が実施出来ました。海難事故への迅速な対応のため、今後も訓練を継続していきます。

水難救済会訓練について

車両配置換え

出雲消防署本署へ配備されていた化学車が出雲西消防署本署へ配置換えとなりました。高速道路への対応や管内の化学火災に幅広く対応していきます。



防衛省の補助事業を受け、消防ポンプ自動車1台を更新配備しました。

また、新型車両として、消防車としての放水はもちろんのこと、泡消火薬剤をクラスA(一般火災用)、クラスB(油火災用)の2種類積載しているほか、救助資機材を積載し、交通事故現場などでは救助活動が可能となる車両を平田消防署へ配備、幅広い災害対応へ強化を図りました。



車両更新



出雲市消防本部少年女性防火委員会(会長 藤江修消防長)は、(財)自治総合センターの宝くじ助成事業により、和太鼓セットを購入し、外園保育園幼年消防クラブに贈呈しました。同クラブは、昭和60年に結成され、定期的に防火訓練を行い、幼年期からの防火意識の高揚を図っておられます。



外園保育園
幼年消防クラブへ
和太鼓セットを贈呈

代表 (電話 21-2119) (FAX 21-8241)

お尋ねは

- 消防総務課 (電話 21-6920)
- 出雲消防署 (電話 21-6926)
- 平田消防署 (電話 63-5519)
- 予 防 課 (電話 21-6921)
- 佐 田 分 署 (電話 84-0915)
- 大社消防署 (電話 53-2373)
- 警 防 課 (電話 21-6923)
- 出雲西消防署 (電話 43-8119)
- 斐川消防署 (電話 72-0800)
- 指 令 課 (電話 21-6924)
- 多 伎 分 署 (電話 86-2149)

災害案内 (電話 23-0119) ホームページアドレス <http://www.izumo119.or.jp>

多言語コールセンターサービス (24時間・365日対応)

対応言語:ポルトガル語・英語・韓国語・中国語



出雲市消防本部では、出雲市における外国人定住者や外国人観光客の増加に伴い、日本語でのコミュニケーションが困難な外国人の方々にも安心して119番通報ができるように、同時通訳を介して災害受信を行う「多言語コールセンターサービス」を導入しています。このサービスは、外国人の方からの119番通報や救急現場の対応に同時通訳で話すことにより、通報、災害内容を詳しく聞き出すことができます。

平成28年5月からサービスの使用を開始していますが、平成29年6月末までの間、18件の利用がありました。(言語内訳:ポルトガル語17件、英語1件)

利用件数には災害に関係ない相談事や問合せも含まれています。119番は急病や怪我、火災等の緊急を要する通報の専用番号です。適正な利用をお願いします。

119番通報時(3者通話)

災害現場活動時(2者通話)



～蜂に刺されてしまったら～



秋の行楽シーズン、どんなに気をつけていても蜂に刺されてしまう事態というのは起こり得ます。もしも刺されてしまった場合、落ち着いて次の処置を行いましょ。

- 1.速やかにその場所を離れる(姿勢を低くゆっくりと!)
- 2.傷口を洗い、指でつねるように毒を搾り出す(口で吸わない!)

アナフィラキシーショックを疑う症状

蕁麻疹・体のかゆみ
気持ち悪い・息苦しい
腹痛・下痢

119番し救急車
※症状は数分から30分程度と早期に現れます。

上記症状がなくても医療機関は受診してください。

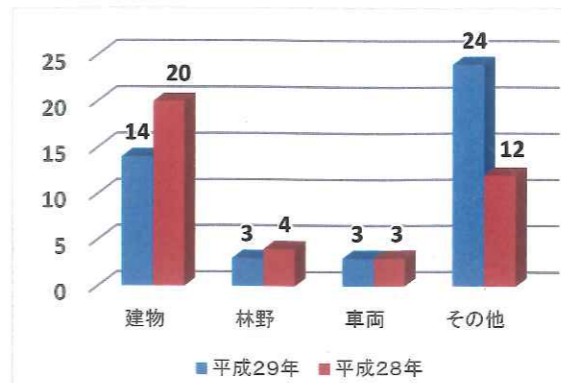
消防Q&A



- Q お店で何かを点検しているのを見かけたのですが、何をしていますか?
A 火災予防のために飲食店・物品販売店・宿泊施設・福祉施設・工場などへ行き、消火器や誘導灯などの消防用設備や避難口の管理などについて立入検査を行っています。
- Q 消防車が赤灯を点けずに道路に止まっているのを見かけますが、何をしていますか?
A 市内にある消火栓や防火水槽が、有事の際いつでも使えるように点検しています。消防水利の近くに一般車両が停まっていると、緊急時の障害になるので、付近に駐車しないようご協力をお願いします。
- Q 救急車に乗っているのは消防士なんですか?
A 救急車に乗っているのは、消防士です。火災現場や救助現場に消防車で出動するだけでなく、救急車で出動するも、我々の任務です。その中には、救急救命士という資格を取得した隊員が、高度な救命処置を行っています。

平成29年 火災・救急統計 (1月～8月)

火災件数44件(前年比5件増)



平成29年8月末までの火災件数は44件で、前年の39件に比べ5件の増加となりました。

種別毎にみると、「建物火災」、「林野火災」は減少傾向にありますが、枯草などが燃えた「その他火災」は増加傾向にあります。特に草焼きが原因の火災が増えています。

救急件数4,564件(前年比311件増)



平成29年8月末までの救急件数は4,564件で、前年の4,253件に比べ311件の増加となりました。

種別毎にみると、「急病」が3,080件で全体の約67%を占め、次いでけがや骨折などの「一般負傷」が569件、「交通事故」が337件となっています。1日あたりの救急出場件数は平均18件となります。

秋季火災予防運動(11月9日～11月15日)

昨年末から今年にかけて、糸魚川市大火(H28.12)、アスクル倉庫火災(H29.2)、北九州市共同住宅火災(H29.5)、秋田県アパート火災(H29.8)など、被害の大きい火災が続いています。これから冬を迎えるにあたり、暖房機器を使用する季節となりますが、火災予防運動にあわせ、使用前の確認をしてください。

- ①電気カーペット、電気毛布類**
 - ・上に重い物を置くことで半断線し、火災が起こる可能性があります。
 - ・ヒーター線が露出していたり、よじれ、偏りがあると火災の原因となります。
 - 光に透かすなどして、内部を確認してみてください。
- ②石油ストーブ、ファンヒーター**
 - ・灯油は水分を吸収し、酸化します。古い灯油は異常燃焼の恐れがあります。
 - ・燃焼付近に埃が溜まっていませんか?使用前には掃除をしましょう。
 - ・オイルフィルターのゴミ溜まりは、正常な燃焼を妨げます。
- ③ガス暖房機器**
 - ・ガス配管接続部が欠損、摩耗していませんか?ガス漏れする可能性があります。
 - ・ガス配管を離脱している間は、ゴミが入らないよう適切に蓋をしましょう。
 - ・試運転してみて、異臭がする場合は業者による点検をおすすめします。



暖房器具は火災の原因となり、一酸化炭素中毒を引き起こす可能性も秘めています。適切な使用を心がけましょう。

お問い合わせ / 予防課 TEL:21-6921

水難救助訓練

出水期を迎え河川等での水難事故の発生に備え、水難救助技術の向上を図ることを目的として、以下の場所で訓練を実施しました。

- ・出雲市西園町 神戸川河川内
 - ・斐川町直江三井地内「新池」
 - ・出雲市園町 宍道湖公園湖遊館付近
- 斐川消防署では、特別救助隊と合同で、溺者を水面から引揚げ訓練を実施し、より一層の連携を図りました。
- 平田消防署では、宍道湖にて小型ボートを使用した操船訓練を実施しました。
- 今後も海、河川の安全を守るため、継続的に訓練を実施していきます。

